

印西市都市マスタープラン（案） 市民意見公募の意見概要

○市民意見公募の結果

案 件	印西市都市マスタープラン（案）		
募集期間	令和2年11月16日（月）～令和2年12月15日（火）		
意見の提出	106件（23人）		
意見の取扱い	修 正	案を修正するもの	2件
	既記載	既に案に取り込んでいるもの	21件
	参 考	案には反映できないが今後の参考とするもの	57件
	その他	案には反映できないが意見として伺ったもの	26件

●印西市都市マスタープラン（案）に対する市民意見公募での意見及び対応

※いただいたご意見については、趣旨を損なわない範囲で要約し、取りまとめさせていただきました。

番号	意見の概要	意見の対応（案）
1	<p>・基本的には良い案と思います。</p> <p>「ふれあいバス」のルートに5つの駅（NT中央、印西牧の原、木下、小林、印旛日本医大）をぐるぐる回るふれあいバスを運行すべき（出来れば山手線のように上り・下りがあれば良い）と考えます。</p> <p>（理由）印西市は今後右肩上に税収が増えてゆくと思います。病院、各種公共施設を市内全域で利便性を図るのなら5駅を巡回すれば、木下の方も中央駅が我が事として使え、日医大病院もどの地区からも利用できるため、利用の片寄りが減少すると考えます。是非、公益的・全市的観点からご検討下さい。</p>	<p><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>バス交通の利便性向上につきまして、本都市マスタープランにおきましても、各地域間の移動や交通不便地域の解消を考慮した持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けて、現在策定が進められている「印西市地域公共交通計画」を準用していく旨を記載しております。</p> <p>今後は、いただいたご意見を参考にするとともに、関連計画に基づき、公共交通の充実に向けた取組みを進めていきます。</p>
2	<p>①印西市の将来都市構造から駅圏・都市交流拠点として木下・大森地域と千葉ニュータウン中央地域を2つ並べ、北総地域の玄関口にふさわしい中心地とすることに矛盾を感じます。</p> <p>現在の中心地と10年先、更には20年、30年先をも視野に入れた時の中心地は断定できます。</p> <p>今までの歴史や人間関係から木下・大森地域を外すことが出来ないとの思いから2つを並列で入れているのは印西市の将来都市構造を誤らせるプランに見えます。都市構造の中心地は千葉ニュータウン中央地域にすべきです。</p>	<p><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>都市計画法に基づき、本都市マスタープランは、千葉県の「印西都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（以下「整開保」と言う。）に即すものとし、2つの拠点につきましては、同整開保の位置づけを踏襲しております。</p> <p>ご指摘の木下・大森地域につきましては、現在も行政サービスにおける中心的な拠点を担っているため、今後も公共用地の活用を視野に入れ、さらなる行政機能の充実や市北部の玄関口にふさわしい都市空間の創出を図っていきます。</p>
	<p>②木下・大森地域の地区構想では、市民の意向は(1)地震・水害などの自然災害に対する安全性、(2)生活道路や通学路の安全性、(3)まちの防犯対策に加え、周辺環境と調和しない土地利用等の防止などを求めており、地域人口も11.4%の11,851人で今後も自然減の漸減の傾向にあり、大きく減ってからでは</p>	<p><u>意見の取扱い【既記載】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、木下・大森地区に限らず、市域全体の課題であることから、第3章都市づくりの方針における「安全で人にやさしい道路づくり」や、「災害に強い都市</p>

	<p>これから対策が打てなくなるため、優先順位の高い項目に政策を変える必要があると思います。 単に賑わいのみを求める政策には反対です。</p>	<p>づくり」などの中で、市全体の方針として記載しております。</p>
	<p>③草深地区の地区構想では、市民の意向は(1)鉄道の利用のしやすさ、(2)バスの利用しやすさ、(3)まちの防犯対策に加え、周辺環境と調和しない土地利用等の防止などを要望しています。市街化調整区域の安易な開発許可を継続しないものとし、その防止策を明文化すべきです。</p>	<p>意見の取扱い【参考】 市街化調整区域における開発許可については、都市計画法第34条第11号及び本市の条例に基づき、一定の要件を満たせば専用住宅などの建築が可能となっています。また、本都市マスタープランでは、そのような土地利用を図る際には、ゆとりある居住環境と周辺地域との調和に配慮する旨を記載しております。 今後はいただいたご意見を参考に、周辺環境との調和に配慮した土地利用の誘導を進めていきます。</p>
	<p>④人口・世帯の動向の図3と図4・5の提示年代を合わせて下さい。</p>	<p>意見の取扱い【その他】 図3につきましては、過年度(平成2年)から現在(令和2年)までの総人口の推移を図示しているものです。 図4・5につきましては、本都市マスタープランにおける現況整理を行う過程で、市が公表している最新データ(平成30年)を使用し、10年前と比較するため、平成20年のデータを記載しております。</p>
3	<p>・千葉ニュータウン事業、新住宅市街地開発事業が収束した中で、6駅が地図等から削除されたことは評価します。 ・186ページに、「集落地間を連結する道路整備」の項目を設け、「市道笠神・中田切線(計画)として整備を進めます」と記述することで、188ページの市道安食ト杭・中田切線と市道笠神・中田切線破線の整合が図られます。</p>	<p>意見の取扱い【修正】 ご意見いただいたとおり、市道笠神・中田切線については、他の補助幹線道路と同様に、第3章都市づくりの方針や、第4章地区別構想の埜原地区において、新たに位置づけます。</p>
4	<p>・印西市の住民は文化・芸術への関心も高く、そうしたニーズを満たすために、オーケストラの演奏会が可能なホールを計画に入れるべき。白井市や近隣の市町村からも集客が可能。</p>	<p>意見の取扱い【参考】 本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごと、地域ごとに方向</p>

	<p>・市役所の新庁舎を建設する際、その一部フロアを利用して組み込む方法もあり。また、印西牧の原北口エリアには広大な土地が長年利用されずに残っていて、そこを活用する方法もあると思います。</p>	<p>性を示すものです。</p> <p>いただいたご意見につきましては、個別具体的な案件ではありますが、今後土地利用を図る際に、参考にさせていただきます。</p>
5	<p>・牧の原南街区公園近くにある交差点に、「信号機の設置」と「止まれ」の表示をお願いします。</p> <p>新築住宅の増加、子どもの増加がこれからも増えることが見込まれますので、ぜひお願い致します。</p> <p>・牧の原小学校の近くに印西総合病院があります。徒歩で何回か行ったことがあるのですが、夜道はちょっと暗いです。街灯やコンビニがあるといいです。</p>	<p>意見の取扱い【参考】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、本都市マスタープランの都市施設の方針において、安全な歩行空間の確保に努める旨を記載しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、個別具体的な案件ではありますが、今後安全対策を講じる際に参考にさせていただきます。</p>
6	<p>・多々羅公園に高齢者に優しいカフェを運営したく、ぜひカフェ作りについて相談にのっていただきたくお願いいたします。</p> <p>内野団地の中にはカフェが一軒ありません。公園内にカフェがあれば、高齢者に限らず、多くの人々が動く動機となり、賑わいの創出にもつながるものと思います。</p> <p>コロナ収束後においてもソーシャルディスタンスは一般化されると考えます。さらに、公園の利用者も増加し活用がなされるという点において、公園内のカフェは有意義であると考えます。むしろ、このような時代だからこそ、条件をクリアする、気持ち切り変わる場所が必要であるともいえます。</p>	<p>意見の取扱い【参考】</p> <p>ご意見いただきました公園敷地の活用につきましては、令和3年3月に策定予定の「緑の基本計画」に関連する内容となりますので、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後公園の活用などを検討する際に参考にさせていただきます。</p>
7	<p>・印西市は現在、子育てのしやすさが特徴的だと思います。買い物には不自由なく、自然が豊富であり、すみやすい街であることに間違いがありません。しかし、市民が不安に思うこともあります。それは、使われていない建物や廃墟のような建物が多く存在することです。そこで、私は「今ある自然はそのままに、使われていない建物を最大限利用すること」を提案します。例えば、廃校の利用等、自然は残しつつ、利用されていない建物を無くすことで、住民の不安も減らすことができます。廃校の再利用が他市や他県に広がることでたくさんの客を集めるこ</p>	<p>意見の取扱い【既記載】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、市としても重要な課題であると認識しているため、第3章都市づくりの方針における「土地利用の方針」や、地区別構想において、小学校跡地を含めた公共施設跡地の活用などによる周辺環境を阻害しない地域振興を目的とした施設の立地について、必要に応じて検討していく旨を記載しております。</p>

	ともできるのではないのでしょうか。	
8	①アンケート結果より、北総線の運賃が高すぎることから、「通勤通学の便利さ」、「生活道路や通学路の安全性」、「鉄道の利用のしやすさ」、「バスの利用のしやすさ」に対して、重要度が高く満足度が低い結果となっている。この結果は、誰もが自家用車の方が安くて便利と考えているのではないか。かといって誰もが車を持てる訳ではありません。思い立ったらいつでも活動を開始し、疑問を知識に変え、そして社会貢献のため具体化する、こうした意識を持つ誰もがすぐに行動に移せるためには鉄道が足にならねばなりません。住みよさランキング1位を奪還するため、北総線問題が解決されれば逆転できる可能性は大きい。行政の皆さんは先頭に立って料金正常化に取り組んで戴ければと思う。	<p style="text-align: center;"><u>意見の取り扱い【参考】</u></p> <p>本都市マスタープランにおきましても、各地域間の移動や交通不便地域の解消を考慮した持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けて、現在策定が進められている「印西市地域公共交通計画」を準用していく旨を記載しております。</p> <p>また、公共交通の利便性につきましては、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後公共交通の充実などを検討する際に参考にさせていただきます。</p>
	②人口増に伴いそこここで新しい住宅地が生まれつつあります。ニュータウンの名を冠するならば非電柱の地中化を実現願いたい。	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>いただいたご意見を参考に、引続き、土地利用に係る事業者等へ要望してまいります。</p>
	③高齢者活躍の場はあるか。退職後自由を得た高齢者が活躍できる環境 場所を作る。現役時代身に着けた知識、経験に関心がある誰にでも伝承できる場所時間が必要と思う。	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごと、地域ごとに方向性を示すものです。</p> <p>いただいたご意見につきましては、個別具体的な内容となりますので、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後さらなる高齢化に対応していくための施策などを講じる際に参考にさせていただきます。</p>
	④平成25年3月のマスタープランの記述について。市の中心を離れた町の様子は現状の記述が多い。プランにまで至っていない。現状報告で済みますのであれば表現を工夫し枚数を節約しコストダウンを図れば如何かと思う。	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>本都市マスタープランは、市民の皆さまをはじめ、誰が見ても分かりやすく、具体的に記載することに留意し、作成しております。また、第4章地区別構想において、市の中心部以外の地域についても、地域の魅力を活かし、それら</p>

		を都市づくりにつなげる方向性を示しております。
9	<p>・市の施策案に対し、反対致します。理由としては、高等学校以上の学校施設に関する言及がないためです。進めるべきは、高等学校以上の学校施設を市内に誘致する政策です。学校運営の観点からは、印西市外からの学生集客効率がポイントになりますので、本政策では高額運賃である北総線の値下げが必須になります。本政策による多数の高等学校（大学含む）誘致が進められた場合、住民の長期定住の安定化、北総線運賃の値下げによる住民満足度の向上、学生の短期移住による人口増加、平日の商業施設稼働率向上などが見込まれます。蛇足になりますが、資料 P15 では”商業規模の拡大“が謳われていますが、高等学校以上の学生が少ないことによる影響も調査されるべきと感じます。</p>	<p>意見の取扱い【参考】</p> <p>本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごと、地域ごとに方向性を示すものとなっております。</p> <p>また、いただいたご意見につきましては、個別具体的な案件となりますので、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
10	<p>・現在印西市が進めておられます都市マスタープラン（案）に全面的に賛成致します。印西市は近年、急速に都市化が進み、私達住民も印西市の発展に期待を寄せて毎日を生きております。一方、印西市は里山を有する自然豊かな土地です。自然環境と共生する都市づくりを印西市はこれからもめざして欲しいです。</p>	<p>意見の取扱い【既記載】</p> <p>本都市マスタープランでは、都市づくりの目標の一つに、「自然環境と共生する都市」を掲げており、第3章都市づくりの方針や地区別構想において、豊かな自然環境の保全・活用に関する方針として記載しております。今後もこれらの方針に基づき、都市と自然環境の共生を目指していきます。</p>
11	<p>1. 自然と調和した美しい景観の保全</p> <p>①里山の景観と調和した上質な住宅街の維持・形成：開発に自然との調和を義務付け；住宅は原則低層か一戸建、周囲と調和のとれたデザイン・色彩とすること、建物周囲に植栽のない住宅販売の禁止。電線地中化推進。無秩序な看板その他、景観を損ねる開発行為の禁止。新街区開発にあたっては、一定割合の公園・緑地確保の義務付け。</p>	<p>意見の取扱い【既記載】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、第3章都市づくりの方針や地区別構想において、住宅地などの景観保全に関する方針として記載しております。また、個別具体的な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
	<p>②自治体・住民一体となった景観の維持・保全活動の推進。公園・道路脇（464号線下のバイパス道路脇ごみ投棄汚点放置は看過できない状態）、空き地、中央分離帯等へのごみ放置行為に対する罰則強化、自治体・住民参加による徹底的な保全活動。定期的</p>	<p>意見の取扱い【既記載】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、第3章都市づくりの方針や地区別構想において、景観保全に関する方針として記載しております。また、個別具</p>

<p>な清掃、巡回確認への予算計上、ボランティア活動の指針、公園・空き地等の柵は、原則として、茶・黒色系の木材を連想させる劣化しない材質とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有エリア（戸建て街区内、公道脇の小緑地）の美化、季節の花を植える等の活動の推進。（定期的な清掃、巡回確認への予算計上、ボランティア活動の推進） ・住民及び訪問者の憩いの場となるような自然ランドマーク、テーマを持った自然公園。（例；ひょうたん山公園、コスモス公園等）、子供が自然を体験できる場、老人が安心して散歩できる花にあふれた公園等の維持・拡充のため、公園設計者、里山体験ガイド等含めた人的リソースの外部から招へい含めた諸施策の実行、予算の計上。 	<p>体な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>③保護すべき自然（里山、森林）の指定と、活動推進を制度化するため Inzai Nature Trust 設立。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林マイスター登用による持続可能な林業の振興と景観保全、持続可能な社会実験の施行。里山の秩序ある管理と（Feasible なら）、森林資源を活用した木質バイオマス発電や CLT 活用による、木造建築化の推進。（岡山真庭、広島庄原、オーストリアの例から学ぶ） ・耕作放棄地の貸出等による有効活用。空き家を古民家風に再生する等の街の価値向上活動推進。 	<p><u>意見の取扱い【既記載】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、第3章都市づくりの方針や地区別構想において、里山などの保全・活用に関する方針として記載しております。また、個別具体的な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>2. 犯罪のない安心・安全な街</p> <p>①小さな綻びを事前に摘み取る犯罪予防・治安維持対策の徹底（マンハッタンの事例に学ぶ）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（長年に亘り改善の見られない）バイク等による、夜間の暴走・騒音公害への対策徹底。警察による常時巡回、暴走車のナンバーデータベース化、再犯時の免許取得等、具体的な対策の実行と継続的な改善状況のモニタリング。 ・不審者対策の徹底。警察による適切な巡回。子供の登下校時のガードマン配置、プライバシー保護担保の範囲内での適切な防犯カメラの設置等、未然に犯罪を防止する仕掛けの徹底。 	<p><u>意見の取扱い【既記載】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、第3章都市づくりの方針において、防犯対策に関する方針として記載しております。また、個別具体的な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>3. 高度な研究・教育・医療・施設及び上質な商業施設設備</p>	<p><u>意見の取扱い【既記載】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては</p>

<p>①他の地方都市とは異なる“質”重視の“住みやすさ” 追及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満たされていないハイエンドのニーズをターゲットにした上質な商業施設の計画的誘致。(例; 読書しながら喫茶出来る空間・英国風パブ・スペイン風バル等の大人の憩いの場、成城石井等のハイエンドスーパー、青山 Flower Market 等のハイエンド店舗をイメージ) <p>(具体例 1 ; BIG HOP テコ入れ) 駅から BIG HOP へのエントリー (訪問者にとっての街の入り口) が、ほぼ空になっている。異常事態即時改善タスクフォースの発足 ; BIG HOP 本体を上質な商業施設で再構成。(例 ; 三井 OUTLET PARK のように) するための戦略的なハイエンド店舗の誘致。量販・安売偏重の商業施設を住民の多様なニーズを満たすように再構成。海外観光客に対しても、自然あふれた美しい街並み、” 電車で行ける Outlet “をアピールすることで、帰国前に印西市で一泊するという新しい動線を創り出し、街の活性化に資する。</p> <p>(具体例 2 ; 印西牧の原北側空き地のユニークな開発)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民及び訪問客に自然と調和した持続可能な街としてのユニークな存在感を示すコンセプトに基づき、従来にない駅前開発のアイデアを試行。 <p>例 1 ; 雉が生息している“牧の原”を秩序ある形で保全・管理された公園として維持する。</p> <p>例 2 ; 自然の中に調和した低層木造建築を配置し、持続可能な社会に適合する店舗を誘致。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然と調和した文教都市を目指した高度教育施設の計画的誘致建設。 <p>自然に溢れる大学キャンパス、研究施設、インターナショナルスクール等の建設。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“新しい働き方”の実現を目指す大手企業・海外企業をターゲットに、自然を取り入れた人に優しい美しいリモートオフィスの建設、提供。 	<p>は、第 2 章将来都市構造における拠点の設定や、第 3 章都市づくりの方針、地区別構想において、多様な都市機能の充実に関する方針として記載しております。また、個別具体的な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域を集落地と市街化区域に近接する区域に便宜上分けています。これは、人口減少や少子高齢化に対応するため、地域の保全と活性化のバ 	<p style="text-align: center;"><u>意見の取り扱い【参考】</u></p> <p>市街化調整区域における開発許可については、都市計画法第 34 条第 11 号</p>

	<p>ランスをとるために分けて考えていると思いますが、開発行為の許認可において重大な瑕疵があるため、印西市都市マスタープラン（案）はスプロール化を助長させるものとなっています。市街化調整区域における開発行為は、少子化による人口減少や高齢化の進行による問題を解決する手段の一つとなりますが、一方で適正な許認可制度による開発ではない場合は、市街化区域縁辺部におけるスプロール化など無秩序で非効率な土地利用を誘導することになります。市街化調整区域の方向性を、例外的な手段である開発行為で誘導することは、土地利用計画における都市計画法など各法令を順守する行政として不適切です。</p>	<p>及び本市の条例に基づき、一定の要件を満たせば専用住宅などの建築が可能となっています。また、本都市マスタープランでは、そのような土地利用を図る際には、ゆとりある居住環境と周辺地域との調和に配慮する旨を記載しております。</p> <p>今後はいただいたご意見を参考に、周辺環境との調和に配慮した土地利用の誘導を進めていきます。</p>
13	<p>①本年に法改正が行われ、防災・減災の街づくりの促進をするため、都市再生特別措置法第81条第13項に規定する「防災移転計画制度」（居住誘導区域等権利設定促進事業）が創設された。このことをふまえた災害危険区域等からの移転を促進するとともに、防災・減災に取り組み、より安全な安心できる都市づくり計画としてください。また、災害が予想される地区の住民に対する災害リスクの理解、自助、共助の取り組み、参加・協力を求め、災害に強い都市づくりに推進してください。特に、自分の命を守るには、一人一人の理解と行動がなければ守れないことを周知させる。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【既記載】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、市としても重要な課題であると認識しており、本都市マスタープランにおきましても、第3章都市づくりの方針や地区別構想において、災害に強い都市づくりを推進していく旨を記載しております。</p> <p>また、個別具体的な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきます。今後は、これらの方針や地域防災計画とも連携し、災害に強い都市づくりを推進するとともに、ご指摘いただいた個別具体的な内容につきましては、庁内担当部署と情報共有させていただき、慎重かつ継続的に議論を行っていくべきものと考えております。</p>
	<p>②都市づくりの主な課題における土地利用について、「災害危険区域に係る都市計画の見直し・検討していく必要があります。」を追加</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、1-3 都市づくりの主な課題における、「安全・安心 ～安全・安心なまちづくりの推進～」に、災害に強い都市基盤の整備を進めていく必要性を記載しておりますが、今後都市計画の見直し・検討を行う際には、いただいたご</p>

	意見を参考にさせていただきます。
③都市づくりの主な課題における都市施設について、「安全・災害対策をとられていない国道464号線（北千葉道路）の安全・災害対策を考慮した道路の早期整備が求められます。」を追加	<u>意見の取扱い【参考】</u> いただいたご意見を参考に、災害に強い都市づくりの観点からも、都市幹線道路の整備について、関係機関に要請してまいりますので、現状の記載のとおりといたします。
④都市づくりの主な課題における景観について、「国道464号線は市域の中央を横断し、県道のほとんどは縦断し、本市の顔となり、シンボルとなる景観とし、市道については、生活に密着した潤いのある景観とするため、景観を考慮した整備と維持管理が必要であります。」を追加	<u>意見の取扱い【既記載】</u> ご意見いただいた点につきましては、第3章都市づくりの方針において、国道464号（北千葉道路）や市が管理する道路について、特色ある道路景観の形成に向けた方針として記載しておりますので、現状の記載のとおりといたします。
⑤都市づくりの目標における安全・安心で健康に暮らせる都市づくりについて、「また高齢化・少子化が進む中、いつまでも健康で生活ができ、高齢者や障がい者など誰もが安心して快適に暮らせ、 <u>子供を産み・子育てが安全・安心にでき、安心して働ける環境</u> の都市づくりが課題となっています。」下線部を追加修正	<u>意見の取扱い【参考】</u> 本目標については、災害への対策や健康増進、ユニバーサルデザインの観点から「安全・安心」と整理させていただいていることから、現状の記載のとおりといたしますが、ご意見いただいた点につきましては、今後子育て世代の定住促進などの施策を講じる際に参考にさせていただきます。
⑥将来都市構造における駅圏・都市交流拠点について、「・・・木下・大森、千葉ニュータウン中央地域・印西牧の原地域」下線部の追加 ・「印西牧の原地域は、市域の中央位置にあり、印西市第2の人口の地域となり、今後も商業地域の集積を図り、市民はじめ近隣市町や近隣県から、より多くの人に利用される生活を支える拠点形成を図ります。」を追加 ・駅圏・都市交流副次拠点から、印西牧の原地域を削除。	<u>意見の取扱い【その他】</u> 本都市マスタープランは、上位計画である「印西都市計画の整備、開発及び保全の方針（千葉県）」に則すものとされており、印西牧の原地域については、同整開保において、駅圏・都市交流副次拠点に位置づけられていることから、現状の記載のとおりといたします。
⑦都市施設に関する方針における道路・交通施設に関する方針について、（国道）「・・・特に、国道464号（北千葉道路）については北千葉道路建設促進期成同盟の活動を通じて、整備するとともに、災	<u>意見の取扱い【参考】</u> いただいたご意見を参考に、災害に強い都市づくりの観点からも、都市幹線道路の整備について、関係機関に要

<p>害対応の道路の整備を促進します。」下線部を追加</p>	<p>請してまいりますので、記載につきましては、現状のとおりとします。</p>
<p>⑧(県道)「・・・成田方面や八千代方面など、本市と周辺都市間を結ぶ県道については、周辺都市と広域的なネットワークの充実と災害時の交通路確保のため、都市幹線道路としての整備を促進します。」下線部を追加</p>	<p><u>意見の取扱い【参考】</u> いただいたご意見を参考に、災害に強い都市づくりの観点からも、都市幹線道路の整備について、関係機関に要請してまいりますので、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>⑨【補助幹線道路】「都市幹線道路を結ぶ市道については、集落間・市街地を連結する補助幹線道路として、また安全な通学路として整備を進めます。」下線部を追加</p>	<p><u>意見の取扱い【参考】</u> いただいたご意見を参考に、引き続き、狭あい道路の解消に努め、安全性を高めてまいりますので、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>⑩景観まちづくりの方針における特色ある道路景観の形成について、「国道464号(北千葉道路)及び国道365号線沿道及び市街地の県道においては、市内外の多くの利用者があることから、本市の顔やシンボルとなる景観形成を誘導します。県道や市が管理する道路空間の植栽については、適切な維持管理に努め、緑豊かで潤いのある道路景観に努めます。」下線部を追加</p>	<p><u>意見の取扱い【参考】</u> 国道464号(北千葉道路)につきましては、印西市景観計画において「国道464号沿道地区」として位置づけられており、本市の顔やシンボルとなる景観形成を先導していくとされております。また、他の道路につきましても、良好な景観形成が必要と考えておりますので、いただいたご意見を参考に、適切な維持管理を関係機関へ要請してまいりますので、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>⑪安全・安心な都市づくりに関する方針における災害に強い都市づくりに関する方針について、基本的に1から見直してください。例として、以下のよう内容盛り込む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減災対策 ・短期的な防災対策の地域防災計画と中長期的な将来の都市づくりのための都市マスタープランの連携強化 ・防災都市づくりの担い手の市民 ・災害に強い都市づくり 	<p><u>意見の取扱い【参考】</u> 本方針につきましては、地域防災計画とも整合を図りながら、減災を含めた災害に強い都市づくりの方針として記載しております。また、個別具体的な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後安全・安心なまちづくりに寄与する施策などを講じる際に参考にさせていただきます。</p>
<p>⑫木下・大森地区における安全・安心な都市づくりの推進について、「木下駅を中心とした本地区の中心部の市街化区域は、液状化・揺れやすさ・洪水・</p>	<p><u>意見の取扱い【参考】</u> ご意見いただいた点につきましては、1-3 都市づくりの主な課題に</p>

<p>内水ハザードマップ災害想定区域であり、防災・減災対策を早急に計画し、都市計画の大幅な見直し、地区の再整備を図る必要があります。」追加</p>	<p>おける、「安全・安心 ～安全・安心なまちづくりの推進～」に、災害に強い都市基盤の整備を進めていく必要性を記載しておりますが、今後都市計画の見直し・検討を行う際には、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
<p>⑬木下・大森地区における防災・治水対策について、「本地区の北部を中心とした、利根川浸水等災害想定区域に居住する市民を主たる対象として、<u>災害リスクの理解と防災・減災対策計画への参加・危険箇所</u>など情報の把握・共有に努めます。」下線部を追加</p>	<p><u>意見の取扱い【参考】</u> 「浸水想定区域」につきましては、本市のハザードマップにもとづく名称を踏襲し記載していることから、現状の記載のとおりといたします。また、災害リスクの理解などにつきましては、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後安全・安心なまちづくりに寄与する施策などを講じる際に参考にさせていただきます。</p>
<p>⑭小林地区において安全・防災・治水対策について、「本地区の北部を中心とした、利根川浸水等災害想定区域に居住する市民を主たる対象として、<u>災害リスクの理解と防災・減災対策計画への参加・危険箇所</u>など情報の把握・共有に努めます。」を追加</p>	<p><u>意見の取扱い【その他】</u> 防災・治水対策につきましては、地域の重要な課題であると認識しているため、第3章都市づくりの方針において、災害に強い都市づくりに関する方針として記載しております。なお、地区別構想においては、特に深い浸水が想定されているエリア（浸水深5.0m以上）が存在する地区のみ、方針を記載するものとしていることから、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>⑮千葉ニュータウン印西牧の原地区の課題、市民をはじめ多くの方に利用される拠点の形成について、「本地区は、市民のみならず近隣市町及び近県から多くの方から利用されており、その際、車での利用が殆どで、その中心部に緑豊かな大規模な公園があり、休日などは多くの方にその公園が利用されております。しかし、公園には駐車場が極度に不足している状況で、駐車場の確保が必要となっております。」を追加</p>	<p><u>意見の取扱い【参考】</u> ご意見いただいた点につきまして、当該地区は多くの方に利用される拠点形成を図る必要があることから、その方針として記載しておりますが、いただいたご意見を参考に駐車場の確保につきましては、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>⑯印旛日本医大地区の地域資源の写真「印旛医科器械歴史資料館」を削除（「印西市公共施設適正配置</p>	<p><u>意見の取扱い【その他】</u> 印旛医科器械歴史資料館につきまし</p>

	アクションプラン」では、計画の期間中に廃止を検討されているため)	ては、印西市公共施設適正配置アクションプランにおいて、「民間施設の活用や譲渡等を検討する」とされておりますが、廃止が決定しているものではないことから、現状の記載のとおりといたします。
	⑰本郷地区における安全・安心な都市づくりの推進について、「本地区は、全般的に住宅が散在している地域で、本埜支所から東側の地区は、液状化・揺れやすさ・洪水ハザードマップ災害想定区域であり、防災・減災対策を早急に計画し、防災集団移転事業等の検討を行い、防災・減災対策を推進する必要があります。」を追加	<u>意見の取扱い【その他】</u> 安全・安心な都市づくりの推進については、市域の重要な課題であると認識しているため、第3章都市づくりの方針において、災害に強い都市づくりに関する方針として記載しております。なお、地区別構想においては、特に深い浸水が想定されているエリア（浸水深5.0m以上）が存在する地区のみ、方針を記載するものとしています。
	⑱本郷地区における防災・治水対策について、「本地区の東部を中心とした、利根川浸水等災害想定区域に居住する市民を主たる対象として、災害リスクの理解と防災・減災対策計画への参加・危険箇所など情報の把握・共有に努めます。」を追加	<u>意見の取扱い【その他】</u> 防災・治水対策については、市域の重要な課題であると認識しているため、第3章都市づくりの方針において、災害に強い都市づくりに関する方針として記載しております。なお、地区別構想においては、特に深い浸水が想定されているエリア（浸水深5.0m以上）が存在する地区のみ、方針を記載するものとしています。
	⑲埜原地区における防災・治水対策について、「北印旛沼北部を中心とした、利根川浸水等災害想定区域に居住する市民を主たる対象として、 <u>災害リスクの理解と防災・減災対策計画への参加・危険箇所など情報の把握・共有に努めます。</u> 」下線部を追加	<u>意見の取扱い【参考】</u> 「浸水想定区域」につきましては、ハザードマップにもとづく名称を踏襲し記載していることから、現状の記載のとおりといたします。また、災害リスクの理解などにつきましては、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後安全・安心なまちづくりに寄与する施策などを講じる際に参考にさせていただきます。
14	①P.12 最下行に「平成30年～」とあるが、令和2年の「新型コロナウイルス感染症」流行の背景を踏	<u>意見の取扱い【参考】</u> 第1章につきましては、本市の都市

<p>まえての状況を追記しておくべきである。(P. 53 では、「生活や経済に影響を及ぼした」とある)</p>	<p>づくりに関する現況と課題について記載しており、新型コロナウイルスに関連する事項については、現時点で都市づくりに関連するデータなどが揃っておらず、十分な整理・分析ができないため、都市づくりの基本理念と目標の中での記載させていただいております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後新たな生活様式を踏まえたまちづくりを検討する際に参考にさせていただきます。</p>
<p>②P. 18 図 13 土地利用の面積割合(平成 28 年)とあるが、「緑の基本計画」P. 10(5)土地利用では既に「令和 2 年 4 月 1 日現在」での数値が案内されていることから、最新値と差し替えるべきである。</p>	<p><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>本都市マスタープランにつきましては、表と図のデータ年を統一する観点から、千葉県都市計画基礎調査のデータを使用しているため、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>③P. 21 表 7 都市公園、都市緑地の状況(平成 31 年 4 月時点)とあるが、「緑の基本計画」P. 16(3)施設緑地では「令和 2 年 4 月時点」での数値の案内があることから、整合性を図り、最新値を掲載すべきである。</p>	<p><u>意見の取扱い【修正】</u></p> <p>ご指摘のとおり、緑の基本計画と整合を図り、表を修正します。</p>
<p>④P. 66 P. 82 P. 111 P. 119 P. 124 P. 151 P. 185 裏表紙での写真紹介で、「固有名」若しくは「地区名」を記載すべきである。</p>	<p><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>P66, 82 につきましては、場所を特定するものではなく、P111 以降につきましては、それぞれの地区別構想の中で掲載させていただいております。また、裏表紙につきましては、裏表紙の前頁に場所が特定できる事項を記載しておりますので、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>⑤P. 192(3)持続可能な開発目標(SDGs)への貢献についてとあり、また P. 57 2-4 将来都市像構造では「総合計画などの上位・関連計画を踏まえながら」とあることから、既に「総合計画第 1 次基本計画」においては「SDGs」の案内があり、政策名 4【まちづくり・生活環境】・「自然と都市が調和する快適で人にやさしいまちをつくります」のもとでの施策</p>	<p><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>SDGs につきましては、都市づくりの目標の中にも掲げており、ご意見いただいた事項だけでなく、都市づくり全般において念頭に置くべきものと考えていることから、現状の記載のとおりといたします。</p>

	<p>名 4-1 適正な土地利用の推進、4-2 緑ある居住環境の実現、4-3 道路環境の充実、4-4 上下水道事業の安定的な運営、4-5 公共交通の充実に5施策への取組について「SDGs」との関連を含め、当該「都市マスタープラン」への言及が試されていることから、「都市マスタープラン」としての「総合計画」並びに「SDGs」との係りを具体的に記述すべきである。</p>	
15	<p>P 7 1の「安全で人にやさしい道路づくり」又は、P 8 1「3-5 安全・安心な都市づくりに関する方針」に以下のような内容を追加記載してもらいたい。</p> <p>「主要幹線道路または都市幹線道路では、沿道の安全な居住環境を保全するため、道路の交通状況に応じて、環境に配慮した整備を道路管理者に求めます。」</p>	<p>意見の取扱い【参考】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、道路としての通行性や安全性の確保、また、適切な維持管理を通じて、周辺の居住環境の保全に寄与するものと考えていることから、現状の記載のとおりといたしますが、今後安全対策を講じる際に参考にさせていただきます。</p>
16	<p>① 5年前から印西市に転居してきましたが、車の渋滞が非常に多くなりました。休日ともなると、ジョイフル本田付近やコストコ付近で渋滞が多い印象です。印西市の人口増加に伴う現状と承知していますが、宅地造成と合わせて道路の整備をきちんとして渋滞の少ない街にしていきたいと思えます。</p>	<p>意見の取扱い【既記載】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、当該エリアだけではなく、市域全体の課題であることから、第3章都市づくりの方針において、道路・交通施設の方針として記載しております。</p>
	<p>② 都内へのアクセスの向上のため、印西牧の原駅もアクセス特急の停車駅にして欲しいです。</p>	<p>意見の取扱い【参考】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容ではありますが、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
	<p>③ 買い物エリアが千葉ニュータウンに集まっているため、印西牧の原エリアと印旛日本医大エリアの中間あたりに巨大ショッピングモールを誘致して欲しいです。また、印西牧の原エリアと印旛日本医大エリアはカフェやケーキ屋がほとんど無く千葉ニュータウンや佐倉まで出かけているのが現状ですので、カフェやケーキ屋さんを駅周辺に誘致してほしいです。</p>	<p>意見の取扱い【既記載】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、第2章将来都市構造における拠点の設定や、第3章都市づくりの方針、地区別構想において、多様な都市機能の充実に関する方針として記載しております。また、個別具体的な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
	<p>④ 印西市外から沢山の人を集めることによりお金</p>	<p>意見の取扱い【参考】</p>

	<p>が印西市に落ち、街が活性化することで持続的な発展が可能となると思います。</p> <p>例 1. Jリーグのチームを作る。スタジアムは成田線側に作り、成田線側にも集客できるコンテナとして活用します。</p> <p>例 2. データセンター・物流センターの誘致 今も多くのデータセンターや物流センターが印西市に建設されていますが今後もこの流れを止めず、日本一のデータセンター、物流拠点となることでビジネスマンを多く印西市に呼び込みます。</p> <p>例 3. ホテルの誘致 成田空港からのアクセスの利便性を生かし、千葉県に来た観光客の宿泊先に印西市を選んでもらえるよう、格安ホテルから上質なホテルまで幅広く選択できるようにホテルを充実させます。</p>	<p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容ではありますが、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
17	<p>①現在策定中の印西市基本構想第3章/2まちづくりの方向性/政策1：誰もが安心して健康で明るく暮らせるまちをつくります(安全・安心・健康福祉)(P.6)に記載されている通り「過去に類を見ないほどの集中豪雨や大型台風の到来、マグニチュード7クラスとも推定されている首都直下地震の発生確率上昇など、災害に対する脅威はこれまで以上に増えています。」。今回の印西市都市マスタープランは昨年度の風水害後に策定されるものであることから、これらの自然災害に対する具体的な施策が盛り込まれているべきものと思います。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【既記載】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、市としても重要な課題であると認識しており、第3章都市づくりの方針や、第4章地区別構想において、災害に強い都市づくりに関する方針として記載しております。</p> <p>また、本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごとの方向性を示すものですので、個別具体的な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
	<p>②市民アンケート結果を見ると、「地震・水害などの自然災害に対する安全性」に関して、市民の関心が非常に高い(病院等の医療施設の利用しやすさに次ぐ)項目になっています。</p> <p>そのため、都市マスタープランにおいては、災害時への備えとして必要な設備や道路などを計画的に整備していく施策が必要と考えます。</p> <p>特に都市マスタープランにおける地区別構想では、全体構想において災害時の避難・迅速な復旧を考えた避難計画やそれに必要な市の主要施設で備える</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【既記載】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、市としても重要な課題であると認識しており、第3章都市づくりの方針や、地区別構想において、災害に強い都市づくりに関する方針として記載しております。</p> <p>また、本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごとの方向性</p>

<p>べき機能・設備を検討し、地区ごとにも避難計画や備えるべき機能・設備を配置していくことが重要と考えます。</p>	<p>を示すものですので、個別具体的な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>③1-3都市づくりの主な課題の「安全・安心～安全・安心なまちづくりの推進～」について、「◆災害に強い都市基盤の整備」に、以下の一文を追記することを提案します。</p> <p>「災害時の長期停電に備えて、市の主要施設や避難所において、最低限のエネルギーを供給できるよう、複数種類の電源や熱源も含めて防災拠点としての機能整備に努めます。」</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な案件ではありますが、本都市マスタープランの目標の一つに掲げている、「安全・安心で健康に暮らせる都市づくり」の推進を図る際に参考にさせていただき、地域防災計画などとの連携を図るとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>④(5)安全・安心で健康に暮らせる都市づくりについて、施策に賛同しますが、施策の具体的な展開にあたっては、「印西市ハザードマップ」や国土交通省の提供する「地点別浸水シミュレーション検索システム」などを活用して、避難計画を策定し避難の際や避難場所で必要な施設に必要な設備等を総合的に検討することをお願いいたします。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な案件ではありますが、本都市マスタープランの目標の一つに掲げている、「安全・安心で健康に暮らせる都市づくり」の推進を図る際に参考にさせていただき、地域防災計画などとの連携を図るとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>⑤地区別構想の【安全・安心な都市づくりに関する方針】における「防災・治水対策」について、「危険箇所などの情報の把握・共有に努めます」という記載を、「危険箇所などの情報を把握し、作成された避難計画に基づいて市の主要施設に必要な設備を整備するとともに、避難計画および避難に必要な情報を市民に提供し災害に備えます。」と変更することを提案します。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>地域防災計画などとの連携を図り、関係課とも情報共有させていただきます。記載につきましては、現状のとおりといたしますが、今後安全・安心なまちづくりに寄与する施策などを講じる際に参考にさせていただきます。</p>
<p>⑥木下・大森地区の課題、【安全・安心なまちづくりの推進】について、以下の一文(例示)を追記することを提案します。</p> <p>「本地区には、市役所と印西警察所があり、災害対策拠点となります。そのため、災害時の対応が円滑に行えるように、市役所には浸水対策にも配慮した「自立・分散型エネルギー」の導入を図ります。」</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>地域防災計画などとの連携を図り、関係課とも情報共有させていただきます。記載につきましては、現状のとおりといたします、今後安全・安心なまちづくりに寄与する施策などを講じる際に参考にさせていただきます。</p>
<p>⑦千葉ニュータウン中央地区の課題、【安全・安心なまちづくりの推進】について、以下の一文(一例)</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>地域防災計画などとの連携を図り、</p>

	<p>を追記することを提案します。</p> <p>「本地区には、災害時の活動拠点のひとつである「印西地区消防組合消防本部」があり、また、千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の建設が計画されており、市役所が被災した時に備えた災害対策本部（市役所本庁舎の代替施設）の設置が予定されています。被災時にも両施設が機能するよう、当該施設に「自立・分散型エネルギー」の導入を図ります。」</p>	<p>関係課とも情報共有させていただきま す。記載につきましては、現状のとおり といたしますが、今後安全・安心なまち づくりに寄与する施策などを講じる際 に参考にさせていただきます。</p>
18	<p>①2019年5月、グーグルが我が町に日本初のデータセンター建設を発表、続き大和ハウスが国内最大級のデータセンター団地開発着工、通信サービスを手掛ける英コルトテクノロジーリアルティと三菱商事のJV「MC デジタルリアルティ」も建設用地を確保。物流拠点とマッチングしたまさに「デジタル都市印西」を標榜してはどうか。</p>	<p>意見の取扱い【参考】</p> <p>本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごとの方向性を示すものですので、個別具体的な内容につきましては、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
	<p>②コロナ後の世界秩序「SDG s」。このゴールはワンストップ型のスマートシティになるだろうと思う。この都市創りを実現することで、住み良い街、市民満足度を高められる豊かな街として発展。まず、市民に「SDG s」を理解してもらおう。そして、首長のリーダーシップが重要。</p>	<p>意見の取扱い【既記載】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、第2章都市づくりの基本理念と目標及び第5章都市づくりの推進に向けての中で、SDG sの理念を踏まえ、快適に暮らせる持続可能な都市を目指す旨を記載しておりますので、現状の記載のとおりとします。</p>
	<p>③アグリテックイノベーションSIB（ソーシャルインパクトボンド）を活用し、恵まれた土地を活かし、整備された農地の開発、さらに植物工場を増やし、多くの食機能、食文化のモデル地区になる。地産地消の実行と物流施設との連携により、近隣の市や町、他県への輸送地域を拡大、又海外への技術・レシピの輸出を検討してはどうか。</p>	<p>意見の取扱い【参考】</p> <p>本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごとの方向性を示すものですので、個別具体的な内容につきましては、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
19	<p>①現在の印西市都市マスタープラン(案)にはこのような世の中の大きな流れである温暖化防止に関するプランが示されていません。是非、印西市も「2050年ゼロカーボンシティ」を表明し、「カーボン・ニュートラル」の実現に向けて役立つようなマスタープランに改訂してください。</p>	<p>意見の取扱い【参考】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、第3章都市づくりの方針において、自然環境への負荷の少ない都市の形成に関する方針として記載しておりますが、個別具体的な内容につきましては、関</p>

	係課とも情報共有させていただきますとともに、今後地球温暖化防止に寄与する施策などを講じる際に参考にさせていただきます。
②当市も少子高齢化を迎えてお年寄りが増えてきています。それに伴い車を手放す家庭が増えてきますので、国が推奨する「コンパクトシティ」を印西市の地域でも目指したらいかがでしょうか。	意見の取扱い【既記載】 ご意見いただいた点につきましては、駅を中心とする拠点の形成方針や、人口減少・少子高齢化が進む集落地においても、今後も生活形成を保全していくための方針を記載しております。
③Z E H・Z E Bの実現・普及について Z E H (Net Zero Energy House) とは、印西市でも見かけますが、太陽光発電とエネファーム、太陽熱温水器などを取り入れエネルギーを買わなくても暮らせる住宅であり、これからも増えていくことが予想されています。また、Z E B (Net Zero Energy Building) とは、徹底した省エネと太陽光発電などの創エネを取り入れたビルで、売電などを買わなくて済む建物です。	意見の取扱い【参考】 本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごとの方向性を示すものですので、個別具体的な内容につきましては、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。
④印西市も 2030 年の頃には、市の車をすべてE Vに変更すべきでしょう。E V時代は目の前に迫っています。早急に印西市のご指導やご支援が必要です。よろしくお願ひします。 また、印西市でも近い将来ふれあいバスやごみ収集車にF C Vを採用することを提案します。	意見の取扱い【参考】 本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごとの方向性を示すものですので、個別具体的な内容につきましては、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。
⑤第3章の3-2に、バスなどの利用性向上ので「印西市地域公共交通計画を策定・運用していきます」ありますが具体策が見えてきません。そこで「オンデマンド交通」の検討をお願いします。	意見の取扱い【参考】 ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な案件でありますので、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後公共交通の充実などを検討する際に参考にさせていただきます。
⑥「ソーラーシェアリング」とは、同じ土地で「営農」と太陽光発電で「発電」を一緒にする設備です。農業は食料生産の基本です。自給率の確保から出来れば国産のものを供給すべきです。収入が天候によ	意見の取扱い【参考】 ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な案件でありますので、関係課とも情報共有させていただきます

	<p>って変わるので不安定、苦勞する割には収入が少ないなどの理由で跡継ぎ不足が深刻になっています。この千葉県発祥のソーラーシェアリングを是非印西市でも導入すべきです。</p>	<p>とともに、今後農業振興などを検討する際に参考にさせていただきます。</p>
	<p>⑦グリーンリカバリー（緑の復興）について、国連が提唱していることですが、新型コロナ禍がワクチンの普及などで終息したら、落ち込んだ経済を急いで建て直さなければなりません。そのとき、従来型の復興をするのではなく、環境に優しく、持続可能な復興を目指そうという取り組みです。印西市で行うグリーンリカバリーについて、下記のとおり提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅に太陽光パネルを設置 ・新クリーンセンターの余剰エネルギーを現在の温水センターとエネルギーセンターへ供給 	<p>意見の取扱い【参考】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な案件でありますので、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
	<p>①ぼい捨てゴミについて、市内各地（公園、道路沿い等）の公共の場を巡回清掃する業者と市が契約し、作業依頼する。常時、清掃管理を心掛け、緑地管理のようにゴミのない街づくりのために、街全体を見回り管理清掃する。ゴミが放置されている街は犯罪も増えやすい。管理されていない場所が多い。</p>	<p>意見の取扱い【参考】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な案件でありますので、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
	<p>②暴走族、改造車、撲滅対策</p> <p><現状>夜間、信号機の少ない直線道路、464号線周辺、滝野地区里山周辺での複数走行爆音あり。</p> <p><対策>市内各地に防犯カメラを設置。危険走行や違法改造車など徹底撲滅を狙う。</p>	<p>意見の取扱い【参考】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な案件でありますので、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
20	<p>③自然環境について、緑豊かな地域に対して、人の手でより管理しつつ自然を美しく保つ必要がある。また、従来からこの地にいる生物のことを考え、バランスのとれた自然、生き物、人の共存を大切にす街を目指す。人の手と知恵によって、人も生き物も住める街を作る。</p>	<p>意見の取扱い【既記載】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、第3章都市づくりの方針や地区別構想において、自然環境の保全・活用に関する方針として記載しております。</p>
	<p>④街の景観について、景観を美しくするためには、国道沿いなどに無秩序にある看板を極力減らす、もしくは色合いや形、デザイン、設置場所を統一していく必要がある。シンガポールなどのように、バスやタクシーのボディに広告を掲載する。また、滝野地区で見られるような公共建造物の修繕</p>	<p>意見の取扱い【既記載】</p> <p>街の景観につきましては、第3章都市づくりの方針や地区別構想において、景観形成に関する方針を記載しております。また、その他の意見につきましては、関係課とも情報共有させてい</p>

	及び老朽化防止などの策をとり、保持していくことが必要である	たきます。
	⑤住民が増え、都内勤務や航空関係者も少なくなく、また外資系工業団地増設により、国際色豊かな街になっていく中、商業店舗の質を見直す必要がある。カジュアル店は日常において必要だが、一方でこの土地の特徴（自然豊か）を活かした一軒家レストランや、都内にあるレストランなどをも誘致すべきである。上質なレストランはビジネスでの利用頻度もあがる。	<p style="text-align: center;">意見の取扱い【参考】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、本都市マスタープランの目標の一つに「活力ある拠点づくり」を掲げており、地域の魅力を発揮する都市機能の配置と充実を図る旨を記載しております。また、いただいた個別具体的な内容につきましては、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
	⑥ビッグホップの活用について、広大な敷地のビッグホップだが、現在の施設全体のコンセプトが全く見えない。思い切って「三井プレミアムアウトレットモール」誘致してみてはどうか。成田空港からも近く、現在印西市近郊では百貨店レベルの物品購入できる場所もない故。	<p style="text-align: center;">意見の取扱い【参考】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、本都市マスタープランの目標の一つに「活力ある拠点づくり」を掲げており、地域の魅力を発揮する都市機能の配置と充実を図る旨を記載しております。また、いただいた個別具体的な内容につきましては、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
21	①1-3 都市づくりの主な課題の「安全安心 ～安全・安心なまちづくりの推進～」を、「安全・安心～快適で、安全・安心なまちづくりの推進～」に変更し、また、その中の「防犯対策の強化・市民が安心して暮らせる都市づくりに向けた、防犯設備の整備を進めていく必要があります」を、「犯罪のない、快適な生活環境の推進・市民が安心して、快適に暮らせる都市づくりに向けた、生活環境への影響を抑えた都市施設の整備と、防犯設備の整備を進めていく必要があります」に変更することを要望します。	<p style="text-align: center;">意見の取扱い【その他】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、都市づくりの主な課題に対応していくことで、本都市マスタープランの基本理念に掲げている、「快適で、魅力的、持続的に発展する都市」の実現を目指していくものと考えておりますので、現状の記載のとおりといたします。</p>
	②2-2 都市づくりの目標（5）の「安心・安全で、健康に暮らせる都市づくり」を、「安心・安全で、快適・健康に暮らせる都市づくり」に変更し、その中の「また、高齢化が進む中、いつまでも健康に生活ができ、高齢者や障がい者なども含めた誰もが、安心して快適に暮らせる都市づくりが課題となって	<p style="text-align: center;">意見の取扱い【その他】</p> <p>ご意見いただいた点につきましては、都市づくりの主な課題に対応していくことで、本都市マスタープランの基本理念に掲げている、「快適で、魅力的、持続的に発展する都市」の実現を目</p>

	<p>います。」を、「また、高齢化が進み、都市施設の整備が進む中、いつまでも健康に生活ができ、高齢者や障がい者なども含めた誰もが、安心して快適に暮らせる都市づくりが、課題となっています。」に変更することを要望します。</p>	<p>指していくものと考えていることから、現状の記載のとおりといたします。</p>
	<p>③4-2 地区別構想の3千葉ニュータウン中央の(2)の地区の課題「■安全・安心で、快適なまちづくりの推進」に変更し、その中に「◇幹線道路の整備等に伴い、住宅地内の道路は、大型貨物車等の通行量が増加することが予想され、快適な居住環境の環境保全が求められている」を加えることを要望します。さらに、(4)地区の都市づくりの方針の【安全・安心な都市づくりに関する方針】を、【安全・安心で、快適な都市づくりに関する方針】に変更し、その中に、次の文章を加えることを要望します。</p> <p>■快適な居住環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路等の整備に伴う環境の悪化を防ぎ、快適な居住環境を保全します。 	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、地区の課題の「拠点間ネットワークの整備促進」や、都市施設に関する方針として記載しており、これらを含めた都市づくりの方針を推進していくことで、本都市マスタープランの基本理念に掲げている、「快適で、魅力的、持続的に発展する都市」の実現を目指していくものと考えておりますので、現状の記載のとおりといたします。</p>
22	<ul style="list-style-type: none"> ・利根川洪水ハザードMapを見れば誰でも解る行政諸機関を安全な北総台地・千葉ニュータウン中央地区へ移転すべき。⇒今回の都市マス変更 ・国際業務中核都市として、近年トラックヤードとして土地利用されている地に、国際会議場、諸外国・海外機関の出先事務所、貿易立国で生きる我国の商社等を連帯させ、道路網 通信網を整備して立地させる。 トラックヤードは木下駅前南口の旧デキシー工場跡地をJR貨物と連携して業務基地化とすべし。千葉ニュータウン住宅地の近隣に存在するトラックヤードを木下に集積化⇒江戸時代の物流基地の地 復活＝都市マス明記化 ・当地域の懸案事項、北総線の高運賃問題を解決を町づくりで図る。 ・北総線の車両基地にJR新幹線の車両基地も併設。長野新幹線車両基地～水没副都心新宿や渋谷・池袋と直結する地下鉄網を構築し、ビジネスネットワーク化 これらを都市マス明記化 ・国道464号に接道し、目の前を多数の自動車が通り、学習環境の悪い印旛明誠高を学習環境の良い「草深の森」の隣接地に移転させる。 	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごとの方向性を示すものですので、個別具体的な内容につきましては、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>

	<p>移転後の印旛明誠高校の跡地に木下の利根川沿にある商工会を移転させ、安全を図り、農協と協働で道の駅化する。</p> <p>木下の商店街は観覧車のあるビックホップガーデンモールで商売する。住まいは、内野団地・原山団地に移り住む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高花西自治会の向かいの樹木が伐採され、住宅足場の資材置き場となり、日々騒音、トラックの出入りで迷惑を受けている。 ・乱開発の進む草深地区を道路の整理し直し（UR西の原と一体化）住宅各地の区画整理、下水道は、住民による整備を（税金還流は NG→UR 宅地並みに事前に整備すべき） 	
23	<p>①印西市都市マスタープラン（案）の対象期間は、令和3年（2021年）から令和12年（2030年）とのことであるが、SDGsは、2030年アジェンダ（行動計画）と同一機関に相当致します。SDGs 2030アジェンダ（行動計画）は、17の目標と、169ターゲットが定められていますが、各ターゲットは具体的に定められています。</p> <p>しかし、本案の序-1には、SDGsに関する記載は何もありません。「都市マスタープラン」が果たすべき役割は、次のとおりとなります。」との記載に追加し、「(4) SDGsの目標達成の一翼を担う。特に、「目標11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエント(強靱)かつ持続可能にする」を明記することを提案する。</p>	<p><u>意見の取扱い【既記載】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、第2章都市づくりの基本理念と目標及び第5章都市づくりの推進に向けての中で、SDGsの理念を踏まえ、快適に暮らせる持続可能な都市を目指す旨を記載しておりますので、現状の記載のとおりとします。</p>
	<p>②南東部の平賀学園台では、住宅地などが形成されており、…との記載は誤り、次のように訂正することを提案する。</p> <p>「南東部の平賀学園台には、大学キャンパスがあり、隣接して千葉県養護学校(中高一貫校)があり、近隣には平賀小学校や岡田美術館があり、文教地区を形成し…と訂正することを提案する。」</p>	<p><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>ご意見いただいた平賀学園台に関する記述につきましては、現状において住宅地などが形成されていることから、現状の記載のとおりといたします。</p>
	<p>③「(7) 都市計画など」について、平賀学園台地区は、民間開発により大学と一体となって開発が進められ、良好な居住環境が形成されています、との記載を以下のように訂正することを提案する。</p> <p>「平賀学園台地区は、民間開発により大学と一体となって開発が進められ、隣接して千葉県立養護学校</p>	<p><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、他の文章との整合性を踏まえ、主な現況について記述していることから、現状の記載のとおりといたします。</p>

<p>(中高一貫校)や、近隣には平賀小学校や岡田美術館があり、文教地区を形成し、併せて良好な居住環境が形成されています。」</p>	
<p>④「(8) 交通網・社会基盤」について、この項は、現況の記載はあるが、課題についてはほとんど記載がない。特に、北総線の高額運賃問題、市内のバス交通網の活性化や利用者動向の把握など、具体的な課題が存在しているのに、その実態を把握した記載はない。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごとの方向性を示すものであり、個別具体的な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後公共交通の充実などを検討する際に参考にさせていただきます。</p>
<p>⑤ 第2章 都市づくりの基本理念と目標 2-2 都市づくりの目標、(2) 活力ある拠点づくり 「また国際社会においては<SDG s の基本理念>を踏まえた、持続可能な経済と社会の発展を実現するための仕組みが望まれているところです。」と記載されているが、SDG s の理解不足か、他人事の文言でしかない。本計画に於いて、SDG s の行動計画を理解し、どのように実現していくかということが、本案には求められているのではないですか。具体的な課題と解決目標を明記して下さい。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、SDG s の理念を踏まえた、持続可能な社会の発展を実現するため、本都市マスタープランに沿った都市づくりを推進していくことで、持続可能な開発目標である SDG s への貢献に寄与するものと考えておりますので、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>⑥2-4 将来都市構造(1) 拠点については「主な都市部において、それぞれの地域にふさわしい機能の集積を図る「拠点」を以下に位置付けます。」との記載に於いて、どのような判断基準に基づいて、地域拠点を定めたかについては、その説明の記載はない。市民に分かりやすく基準を開示して下さい。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきまして、本都市マスタープランでは、上位計画である「印西都市計画の整備、開発及び保全の方針(千葉県)」及び「印西市総合計画」に則すものとされていることから、これらの上位計画との整合を図りつつ、拠点の設定をしております。</p>
<p>⑦第3章 都市づくりの方針、3-1 土地利用の方針について、本章においては、都市環境ゾーンと自然共生ゾーンとに区分けされているが、些か違和感を感じます。平賀学園台の順天堂大学さくらキャンパスは、「商業・業務地」として塗分けられています。また、千葉県立養護学校(中高一貫校)も同様に扱われていますが、文教地区として、学校等は区分けすることを提案いたします。その他、学校等教育機関</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、土地利用の方針において、商業・業務地として位置づけておりますが、将来都市構造及び第4章 地区別構想においては、住宅と大学が立地する平賀学園台を地域拠点として位置づけ、居住環境の保全を図りますので、記載につ</p>

<p>は、同様に扱っていくことによって、印西市のイメージは大きく変わると確信いたします。</p>	<p>きましては、現状のとおりといたします。</p>
<p>⑧3-2 都市施設に関する方針(1)公共交通の整備について、<バスなどの利便性向上>については、既存の公共交通ネットワークに囚われることなく、市民の要望に即したデマンドタクシー等の新方式の交通体系を検討していくことを提案する。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容となりますので、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後公共交通の充実などを検討する際に参考にさせていただきます。</p>
<p>⑨(2)公園・緑地に関する方針について、印西市には、近隣公園14箇所、街区公園97箇所があるが、これらの公園を防災地域拠点として整備することを提案する。市民の住居に最も近い存在であるが、防災避難場所として最も利便性の高い場所であるが、未だに整備されていない。すなわち、これらの公園に、井戸と太陽光発電及び蓄電池を設置することにより、災害時に使い勝手の良い防災拠点が得られる。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容となりますが、本都市マスタープランの目標の一つに掲げている、「安全・安心で健康に暮らせる都市づくり」の推進を図る際に参考にさせていただき、緑の基本計画や地域防災計画などとの連携を図るとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>⑩3-3 都市環境の形成に関する方針について、本節に『SDGs 目標 11 住み続けられるまちづくり-「都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエント(強靱)かつ、持続可能にする」を実現することを目標とする。』を挿入することを提案する。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、SDGs の理念を踏まえた、持続可能な社会の発展を実現するため、本都市マスタープランに沿った都市づくりを推進していくことで、持続可能な開発目標である SDGs への貢献に寄与するものと考えておりますので、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>⑪3-5 安全・安心な都市づくりに関する方針について、以下追記して下さい。 「地区防災カルテを活用し、地域住民に迅速・正確な情報を提供する。情報収集は、国県等の機関を通じ、さらに報道機関やインターネットを活用し、常に正しく・新しい情報を提供する。」</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容となりますので、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後安全・安心なまちづくりに寄与する施策などを講じる際に参考にさせていただきます。</p>
<p>⑫第4章地区別構想、4-1 地区区分の設定(2)地区区分の設定方針について、 「…なお、今後新たな都市マスタープランを策定</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>地区区分の設定につきましては、記載のとおり、市を取り巻く社会経済情</p>

<p>する際には、市を取り巻く社会経済情勢の変化などを踏まえ、<u>当該地区住民にその趣旨を十分に説明するとともに、同意を得たうえで、必要に応じて当該地区区分の見直しを検討します。」との記載に修正することを提案する。</u></p>	<p>勢の変化などを踏まえ、地区区分の見直しを検討する旨を記載しております。ご意見いただいた点につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>⑬地区区分の設定方針を踏まえ、地区を以下の通りとします。 六合地区として平賀、平賀学園台1～3丁目が含まれていますが、市の地域防災計画の防災カルテにおいては、平賀地区として、平賀、平賀学園台1～3丁目地区として記載されておりました。今回本案に於いて、なぜ平賀、平賀学園台1～3丁目地区として併合されるのか、合理的な理由は全く説明されていません。本案作成に際して、どのような検討がされたのか開示して下さい。</p>	<p>意見の取扱い【その他】 本都市マスタープランの地区区分の設定につきましては、地区の特性に応じた設定方針に基づき設定したものであるため、地域防災計画の防災カルテにおける地区の設定とは異なることから、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>⑭「9 六合地区(1)地区の概況①地区の位置・構成」について、「…また、本地区の南部に位置する平賀学園台に、順天堂大学が立地しています。」の記載がありますが、以下のように修正することを提案する。 「…また、本地区の南部に位置する平賀学園台に、順天堂大学が立地し、県立養護学校があり、平賀小学校、岡田美術館、来福寺など、印西市に於いて唯一の文教地区を形成している。」</p>	<p>意見の取扱い【その他】 ご意見いただいた点につきましては、他の文章との整合性を踏まえ、主な現況について記述していることから、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>⑮「②土地利用」について、「…印旛沼周辺の水田と台地部の畑地及び樹林地などの自然環境に恵まれた地区であるため、…」との記載があるが、以下のように訂正することを提案する。 「…印旛沼周辺の水田と台地部の畑地及び樹林地などの自然環境に恵まれた地区であり、印旛米ブランドの生産地であると共に、ブドウやキウイ（印西市のふるさと納税の返礼品）等が生産され、カーネーションやシクラメン等の花卉類の生産地を形成し…」</p>	<p>意見の取扱い【その他】 ご意見いただいた点につきましては、他の文章との整合性を踏まえ、主な現況について記述していることから、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>⑯「④市街地の整備状況」について、「平賀学園台には、順天堂大学が立地し…」との記載を以下のように訂正することを提案する。 「平賀学園台には、順天堂大学医学部・スポーツ健</p>	<p>意見の取扱い【その他】 ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容となりますので、関係課とも情報共有させていただきます。</p>

<p>康学科があり、各種学科の教室や研究室があり、体育館・食堂・コンビニなど優れたインフラを有し、災害時など優れたボランティアとなり得る多くの学生が居住すると共に…」</p>	<p>す。</p>
<p>⑰「③都市設備の整備状況」について、「主な道路としては、…市道山田・平賀線（1-8）…が整備されています。」との記載より、「市道山田・平賀線（1-8）」を削除し、以下の文言を追加することを提案する。 「市道山田・平賀線（1-8）」は、台風などの自然災害において、一部道路が冠水し（中平橋付近）、市民の安心な生活を脅かしているため、早急に冠水防止対策を要する。（2019年の台風時には、当該道路は、酒々井町との境に於いて、冠水により交通障害が発生している。）</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【既記載】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、当該路線に限らず、市域全体の課題でもあることから、第3章の都市づくりの方針や地区別構想において、防災・治水対策の方針として記載していることから、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>⑱（2）地区の課題「■周辺市街地の生活を支える拠点の形成と集落地の生活形成の保全」について、◇「平賀学園台には、…地域拠点として位置づけています。」の記載を以下のように訂正することを提案する。 「平賀学園台には、順天堂大学医学部・スポーツ健康学科等あり、各学科の教室や研究室があり、体育館・食堂・コンビニなど、優れたインフラを有し、災害時など優れたボランティアとなり得る多くの学生が居住すると共に、地域の一体化の基盤として、都市公園を防災拠点とした、地域力のある地域拠点として位置づける。」</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、本都市マスタープランの目標の一つに掲げている、「安全・安心で健康に暮らせる都市づくり」の推進を図る際に、参考にさせていただきます。また、いただいた個別具体的な内容につきましては、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>⑲「■交通環境の充実」について、 酒々井町の「ふれ愛タクシー（デマンドタクシー）」は、町民の支持を得て、年間一万人以上の利用者があると言われています。このような優れた事例を学び、印西市に於いても検討し、実施して頂きたい。酒々井町では、65歳以上の町民が利用でき、町内のどこでも乗っても降りても、1回300円、日医大病院までは、片道500円で運行している。従って、以下の文言を追加することを提案する。 ◇地域住民の意見を尊重し、利便性に優れたデマンドタクシーの導入は、今後人口減少や高齢化の状況からして、早急に導入する必要がある。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容となりますので、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後公共交通の充実などを検討する際に参考にさせていただきます。</p>

<p>⑳ 「■農地の保全」について、</p> <p>◇「農地については…良好な自然環境・景観を形成する要素として、保全していく必要があります。」との記載を以下のように修正することを提案する。</p> <p>◇「農地については…良好な自然環境・景観を形成する要素とし、農業者の連帯を基礎とした地域を形成し、保全していく必要があります。農業生産基盤の充実は、気象変動や市場動向を農業者に、早く正確に伝達することにより達成される。そのような情報伝達機能を構築する。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容となりますので、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後農業振興などを検討する際に参考にさせていただきます。</p>
<p>㉑ 「(3) 地区のキャッチフレーズ」について、『豊かな自然環境と住・農・学がふれあうまち』ここに記載されている内容は、単なるキャンペーンスローガンに過ぎない。どのようにしたら「住・農・学がふれあう」とは具体的には、場所や時間が必要である。どのような場所や時間が必要かを考えることが大切。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>本都市マスタープランにつきましては、中長期的な都市づくりの視点から、それぞれの分野ごとの方向性を示すものであり、地区の特性を踏まえてキャッチフレーズを作成しております。</p>
<p>㉒ 「(4) 地区の都市づくりの方針、[土地利用の方針] ■住宅地■」について、</p> <p>○平賀学園台を地域拠点とした居住環境の形成・保全</p> <p>・市民や学生が生活する平賀学園台… …生活を支える魅力ある地域の形成を図ります。」との記載に関し、以下のように記載することを提案する</p> <p>・「平賀学園台には、順天堂大学医学部・スポーツ健康学科等あり、各学科の教室や研究室があり、体育館・食堂・コンビニなど優れたインフラを有すると共に、県立養護学校に通う学生や父母と協働すると共に、災害時など優れたボランティアとなり得る学生らと共に、世代間の融合を構築し、文教地区として、地域基盤の一体化を実現し、都市公園を防災拠点とした、地域力のある利活き拠点として魅力ある地域の形成を図ります。」</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容となりますので、参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>㉓ 「■集落地■」について、</p> <p>○自然環境と調和した居住環境の保全</p> <p>・「本地区の集落地においては、周辺の… …居住環境の保全に努めます。」との記載に関し、以下のように記載することを提案する。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、地域間連携や住民共同の環境保全に関する仕組みなどを検討する際に参考にさせていただくとともに、関係課</p>

<p>「本地区の集落地においては、近隣の地域との連携の下、農地・里山・河川・水路など自然環境と調和した居住環境の保全に努めます。」</p> <p>・「本地区では、人口減少や少子高齢化が進んでおり… …周辺環境を阻害しない地域振興を目的とした施設の立地についても、必要に応じて検討してきます。」との記載に関し、以下のように記載することを提案する。</p> <p>「本地区では、人口減少や少子高齢化が進み、地域のコミュニティが低下していく中、地区住民が、共同して環境保全を実現する機能的な仕組みと施設を構築し、その実現に努める。」</p>	<p>とも情報共有させていただきます。</p>
<p>⑭「■農地■」について、</p> <p>○農地の保全</p> <p>・「印旛沼周辺の低地部に広がる水田や台地部… …良好な自然環境を形成する要素として保全に努めます。」との記載に関し、以下のように記載することを提案する。</p> <p>「成田国際空港に近い、印旛沼周辺の低地部に広がる水田や台地部を、海外に輸出できる農産物を生産できる地域とすることで、農業生産基盤の充実を図る最適地である。」[成田市では、近郊の農産物をイギリスやブラジルへの輸出を検討している。現在の成田公設市場は、そのために移設が計画されている。]</p>	<p><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容となりますので、今後農業振興などを検討する際に参考にさせていただくとともに、関係課とも情報共有させていただきます。</p>
<p>⑮[都市施設に関する方針]「■公共交通■」について、</p> <p>○公共交通利便性の向上</p> <p>・「各地域間の移動や交通不便地域の解消を考慮した持続可能な公共交通ネットワークの形成に向け、印西市地域公共交通計画に基づき、公共交通の充実を図ります。」との記載に関し、以下のような訂正を提案する。</p> <p>「地域住民の生活実態を把握し、利便性に優れたデマンドタクシーの導入は、今後の人口減少や高齢化の状況からして、早急に導入する必要がある。この実現に際しては、学校のスクールバスなどとの併用も考えていく。」</p>	<p><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容となりますので、関係課とも情報共有させていただきますとともに、今後公共交通の充実などを検討する際に参考にさせていただきます。</p>

<p>②⑥ 「■都市幹線道路■」について、 ○都市幹線道路の整備促進 以下の項を新設して下さい。 ・市道山田・平賀線（1-8）の酒々井町との境界部には、台風など大雨の都度冠水し、交通障害や人身事故となっている。速やかに解消する。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【既記載】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、当該路線に限らず、市域全体の課題でもあることから、第3章の都市づくりの方針や地区別構想において、防災・治水対策の方針として記載していることから、現状の記載のとおりといたします。</p>
<p>②⑦ [安全・安心な都市づくりに関する方針]、「■防災治水対策■」について、 ○水害に関する情報の把握と共有 本節に以下を追加することを提案します。 ・「防災課が作成している地区防災カルテを活用し、地域住民との情報の共有を図り、防災力の向上に努める。」</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【参考】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容となりますが、本都市マスタープランの目標の一つに掲げている、「安全・安心で健康に暮らせる都市づくり」の推進を図る際に、参考にさせていただきます。</p>
<p>②⑧ 印西市の業務改善提案は、昨年1件のみとのことであるが、幹部が部下を教育し、活力ある職員にすることが、本案の実効性を高めることが出来る。本案に、人材育成の項とそのプログラムを明示することを提案する。</p>	<p style="text-align: center;"><u>意見の取扱い【その他】</u></p> <p>ご意見いただいた点につきましては、個別具体的な内容となりますので、関係課とも情報共有させていただきます。</p>